



JAPAN MONKEY CENTRE

FAX COVER LETTER

公益財団法人

日本モンキーセンター

赤見 理恵

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 4枚

送信日 2014年 12月 12日

冬の風物詩「たき火にあたるサル」

今年も 12月22日(冬至)より開催します

師走に入り、なにかと忙しい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

さて、今年も冬至より、冬の風物詩「たき火にあたるサル」を開催いたします。伊勢湾台風の年（1959年）から半世紀以上の伝統をもつ行事（由来は別紙参照）で、世界で唯一、火を全く恐れずに大きなたき火で暖をとるサルたちの姿が見られます。

また、14:00からの「ほかほかおイモタイム」では、たき火で焼いた焼イモを、まるで人間がするようなしぐさでほくほくと美味しそうにほおぼるサルたちの姿は、見ているだけでも心癒されます。

冬の風物詩「たき火にあたるサル」概要

■日程 2014年12月22日(月)冬至 ~2015年2月28日(土)の土日祝

※12月22日、23日、および1月1日~4日は実施

※雨天決行、荒天時中止

■場所 日本モンキーセンター内 モンキーバレイ

■時間 11:30~14:00

■ほかほかおイモタイム

14:00~ サルたちがおイモを食べ終わるまで(ガイド付き)

■おイモの試食

12月22日、23日、および1月1日~4日の計6日間は、

お客様にも蒸したてのおイモをお配りします



サルたちは本当にすぐ近くまで、炎に近づきます。

ためし焼き（取材も可能です）

たき火には「おき」が欠かせません。12月22日からのたき火のために、以下の日程で「おき」づくりのための「ためし焼き」をおこないます。

本番と同様にモンキーバレイ内で火をたき、サルたちもあたりに来ますので、報道関係の皆さまに取材をしていただけます。

■日程 2014年12月19日（金）、20日（土）、21（日）

■時間 11:30～14:00

※焼イモはありません

【資料：冬の風物詩「たき火にあたるサル」について】

1959年（昭和34年）の伊勢湾台風で出た倒木や家屋の残骸を、処分を兼ねて旧犬山野猿公苑（開苑期間：1957～1997）で職員が暖をとるためたき火をしたところ、少しずつサルが集まってきたことが始まりです。伊勢湾台風が産んだ冬の風物詩として、今年で55年を迎えます。その後、「冬至」より翌年の2月末日（暖冬などにより変更あり）まで毎年続けております。また、余禄としてサツマイモを焼き、サルたちに寒い冬の午後の一瞬を幸福に浸ってもらっています。おきで2時間以上かけて焼かれる「焼イモ」の味は格別のようなようです。

海外ではニホンザルをミラクルモンキーと呼びます。これは北限のサル・スノーモンキー（青森県下北半島）、温泉につかるサル（長野県地獄谷）、イモを洗うサル（宮崎県幸島）とならんで、たき火にあたるサル（愛知県犬山）をミラクルモンキーとして紹介しています。

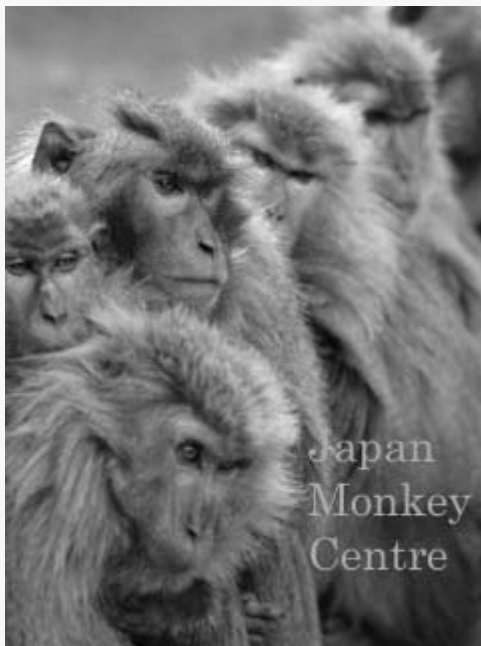
たき火にあたるサルは、世界遺産の島、屋久島にのみ生息するサル「ヤクニホンザル」で、およそ150頭がモンキーバレイで暮らしています。ニホンザルの亜種で、体格が2回りほど小さく全体にこじんまりとしたサルです。好奇心が強く、石打ちや雪団子作り、アイススケートなど次々に新しいことを編み出したいへん貴重な種でもあります。昨年、ボスの交代があり、タイマツ（1999年4月27日生まれ）が第16代目のボスとなりました。

日本モンキーセンターでは1957年（昭和32年）以来、8世代にわたってヤクニホンザルをここ犬山で飼育し、多くの研究者の研究対象として、また観光資源として愛されてきました。たき火に

あたる行為は自然に発生したもので、他所ではニホンザルを用いて人為的に試みられています
が、8 世代にわたって受け継がれたモンキーセンターのサルたちと同じようにはいかないよう
です。

【資料：ヤクニホンザルについて】

ヤクニホンザル



英名	Japanese Yaku-Macaque
学名	<i>Macaca fuscata yakui</i>
CITES	II
IUCN	LC

分布



屋久島

会える場所

モンキーバレイ

- 世界遺産の島、屋久島に生息するニホンザルの亜種。
- 本土のニホンザルにくらべると、やや小型で体毛が長く、荒い。

お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26 公益財団法人日本モンキーセンター
TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp
担当 : 園長 伊谷原一、学術部 高野智、赤見理恵、大橋岳、新宅勇太